

## 教材・支援機器活用実践事例

### 【肢体不自由のある生徒に対する、自分の思いを伝える支援】

	実施年度	平成28年度
授業について	教科名等	自立活動
	単元・題材名	ことばの学習
	授業における教師のねらい	○ことばの語彙を増やし、自分から思いを伝えることができるようにする。
	授業における子どもの目標	○自分の気持ちを複数の選択肢の中から選んで、伝えることができる。
子どもについて	学校・学級・学年	養護学校 中学部 3学年
	対象の障がい	肢体不自由（福山型筋ジストロフィー）
	授業の形態	個別学習
学習上または生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	○教師や友達とかかわり合うことに対して意欲的であるが、緊張すると言葉がでなかつたり、語彙数が少なかつたりするため、自分の意思が相手に伝わりづらいことがある。そのため、言いたいことが伝わらず、諦めてしまったり、不適切な言葉で注意を引こうとしたりすることがある。
教材 支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「タブレット端末」</li> <li>・アプリ</li> <li>「Drop Talk HD」</li> <li>・棒スイッチ</li> <li>・スイッチ</li> <li>インターフェース</li> </ul>
	活用のねらい	○自立活動の中で活用することにより、言葉を選択して伝えたり、スイッチを押すと音声が出ることで復唱したりすることを通して、語彙を増やすことができるようにする。
授業における支援・教材の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本人が使いやすく、見やすい位置にタブレット端末を設置する。</li> <li>○本人が操作しやすい位置に棒スイッチを設置する。</li> <li>○本人が身近に使う言葉などを精選し、選択できるようにする。</li> <li>○選択すると音声が出るようにし、音声の後に復唱できるようにする。</li> </ul>	
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スイッチを押して音声が出ると、自ら復唱することができた。</li> <li>○興味を持って色々な言葉を選択することができた。</li> <li>○操作していく中で、教師に思いを伝えながら取り組むことができるようになった。</li> </ul>	



